

広報 Public relations of mikawa town

みかわ

令和4年
2022

9 No.787
September

Contents

- ▶二十歳のつどい
- ▶子ども広場〈学校運営協議会〉
- ▶まちかど写真館
- ▶みかわ環境つうしん
- ▶食のみかわおしながき

あふれる笑顔 みんなが住みやすいまち ハートフルタウン **みかわ**

仲間とともに!

 三川中学校大運動会 (9月3日)



三川町 二十歳のつどい



希望と責任を胸に

二十歳のつどい

8月15日(月)、いろり火の里なの花ホールで「二十歳のつどい」が開催され、49人が参加しました。このつどいは、これまで行ってきた成人式に代わる式典として開催されたものです。ここでは、その式典の様子や、二十歳を迎え式典に参加した方の抱負を紹介します。

今年4月より、成人年齢が20歳から18歳に変わりました。保護者の同意がなくとも契約行為ができるなど、権利が拡大する一方で、社会人としての責任が増えることとなります。町では、これまで、成人の年齢にあわせて式典を行ってきたましたが、就職や進学などで、それぞれの道歩んだ同級生たちの再会の場としての意味合いも考慮し、これまで同様の20歳の節目で式典を行うこととしました。

新型コロナウイルス感染症のまん延状況を鑑み、参加を希望する方には事前に抗原検査を実施し、陰性であることを確認できた場合のみ参加できることとし、さらには、例年設けていた懇談の場は設

けず、式典のみの開催となりました。

参加者を代表してあいさつをした石栗稔也さん(押切下町町内会)は、「コロナ禍の中、こうして故郷に帰ってくれる同級生の仲間たちは、かけがえのない存在。これからは大人であるという自覚と責任を持ち、社会人として歩んでいきます。」と語り、他の参加者も同様に決意を新たにしました。



としなり
石栗 稔也 さん
(押切下町町内会)

参加者インタビュー NO.1



かける
五十嵐 翔琉さん
(青山町内会出身)

私は4月から三川町を離れ、新潟県の大学に編入し、情報系のコースを専攻しています。就職し社会人になったら生かせるよう、より多くの専門知識を習得したいと思っています。

一人暮らしをするようになって、暮らしが一気に変わり、いろんなことにチャレンジすることになりました。そのひとつが料理ですが、久しぶりに実家に帰って食べた料理はとておいしかったです。親のありがたみが良く分かりましたね。

本日「二十歳のつどい」を迎え、20年間育ててくれた家族や友人、先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。いつかこの気持ちを形にして恩返ししたいと思っています。あと2年で就職する予定ですが、三川町に戻ってきたら、町へも貢献できればいいなと思っています。

参加者インタビュー NO.2



みう
長南 美羽さん
(横山中町内会)

学生時代は寮生活をしていましたが、その間、地域の人の温かみを実感していました。実家に帰ってくると、近所の人「おかえり」と言ってくれるのです。

今は高専を卒業後、4月から地元の製造業の企業に就職しています。まだ研修期間中ですが、いずれ製品整備の業務に就きたいと思っています。

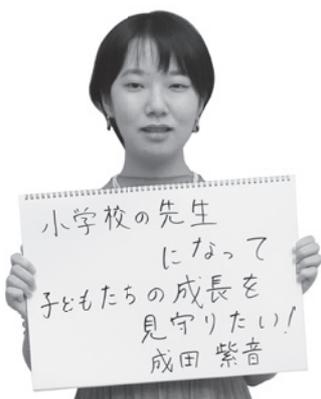
今日、久しぶりに会った友達もたくさんいます。いい意味で変わっていません。安かったです。

二十歳になり、就職したこともあって、自分に責任を持つようになりました。家のことも家族と協力してやるようにしています。この式典を迎えた今、祖父母と両親への感謝の気持ちでいっぱいです。まわりの人への感謝の気持ちを忘れずに、社会に貢献していきたいと思っています。

これからの抱負を聞いてみました!



ひろたか
佐藤 大空さん
(天神堂町内会)



しおん
成田 紫音さん
(猪子町内会出身)



れん
齋藤 蓮さん
(押切下町町内会)

子ども広場 ひろば

学校運営協議会より

旧横川小学校を訪れる

〜地域と学校をつなぐ〜



地域の歴史調査
横山小学校3年生

本町では、町内すべての小・中学校に学校運営協議会を設置し、学校・保護者・地域が一体となつて子どもを育てる、「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」の仕組みづくりを進めています。

三川町コミュニティ・スクールでは、地域と学校の連携を深めるため、「地域学校協働活動」に取り組んでいます。その一環として、

て、横山小学校3年生が、閉校した旧横川小学校について調べる学習を行いました。横川町内会長の黒田修悦さんと民生委員の石栗満さん、いきいきサロンの石栗啓子さんの3名が、今は公民館として利用されている旧横川小学校で児童を迎えてくれました。当時の写真を見ながら説明を聞いた児童からは、何人ぐらいの児童がいたのか、給食はあったのかなどの質問が相次ぎました。



町長コラム

「誠・心・誠・意」



▲決意を新たにする参加者と

人生の節目に願うふるさと回帰

8月15日、なの花ホールにおいて「二十歳のつどい」が開催され、私も出席してきました。コロナ禍での開催となりましたが、会場には、二十歳となった同級生が一堂に会し、三川中学校卒業以来、久しぶりに会う友人たちと旧交を温め、有意義で楽しいひと時を過ごしていました。特に、県外に就職や進学している人たちにとっては、生まれ育ったふるさと三川町の良さを改めて感じる機会となったのではないのでしょうか。人生の節目を迎えた若者たちには、社会人としての自覚と責任を意識しながら、大いに仕事や学業に励んでもらいたいと願っています。

ところで、日本全国の地方都市で

は人口減少が課題となっており、山形県も同様であります。わが県における人口減少の要因の一つに、若者の県外流出が挙げられており、特に庄内地方の流出率は県内でも高く、県としても課題を解決するため幅広い視点から若者定着対策を講じています。例えば、小・中・高の学校教育における学びのテーマとして、地域を知ることにより郷土愛を育む活動を実施したり、地域の生活文化や伝統芸能の継承活動を支援することにより地域に親しみやすい環境づくりを行ったり、さらには、地域のトップリーダーによる講話を聞くことにより、県内企業を知り、就業機会を拡大する取り組みも行われています。また、県と各市町村の連携により奨学金返還を支援することにより、Uターン就業を検討しやすい環境づくりにも取り組んでいます。

人口の一極集中やデジタル化の進展、AI技術の発達などにより就業構造が大きく変化する中、これからの世の中を生きていく若者たちには、社会変化に順応しながらそれぞれの夢や希望を叶えてもらいたいと願っています。持続可能な社会の実現のため、ふるさと三川町や山形県の将来を担う人材、リーダーとして地元定着、地元回帰を期待したいと思います。

一時間というわずかな滞在でしたが、参加した児童は多くのことを学び、各自のタブレットで調査結果をまとめ、発表も行いました。地域の方と触れ合いながら地域学習ができた貴重な体験であったようです。

他にも、町の文化財を調べる学習「地域巡り」への協力や、体験学習に関わる地域指導者を学校へ紹介するなど、「コミュニティ・スクール」は、学校と地域をつなぐ役目を担っています。多くの地域の方々から参加していただいていることに、改めて感謝申し上げます。

今年度の「熟議」のテーマ

※熟議：学校や地域が抱える課題について、意見交換をすること。

☆子どものスポーツ・文化活動の素地をどう育てるか

三川町「コミュニティ・スクール」で行われている「熟議」の今年度のテーマは、『スポーツと文化活動』にしています。子どもが興味・関心を持つためのきっかけづくりや、将来へつながる支援のあり方、減少するスポーツ少年団の活動、中学校部活動の地域移行について、子どもたちの意見を聞きながら意見交換しました。その結果、次のような課題が判明しています。

○本町での課題

- ・ 文化的活動の機会が少ない。
- ・ 人数の減少により、活動が制限される。
- ・ 指導者の確保が困難。
- ・ 子どもの送迎が大きな負担である。
- ・ 部活動の地域移行に関わる組織が必要。



子どもたちの思いを聞きながら(東郷小)

今後も、同じテーマで視点を変えながら、課題解決に向けた熟議を行っていきます。

三川文化コーナー



俳壇

遠花火音生温かき風と来る

一輪車土用の坂を昇り詰め

間をおきて打つ長崎の鐘の音

雨上がり勢い余る葛の蔓

入道雲汗びつしよりとにじむなり

炎天や飛行確かに防除へり

年寄りの窓から見ている夏祭り

工藤ひろし

佐藤 誠爾

飯野 藤子

庄野すみれ

土田 秀

春山 夏海

菅原たけお

歌壇

父植へし墓地のつつじの手入れするいつもと変はらぬ盆近き日に

くちなしの香りが雨にほどかれてお盆も近い七月の末

わが町の所所にありし戦役の碑静もりて建つ祈りの八月

お先祖を尊ぶ心ひとすじに墓前に花を供え拝みぬ

盂蘭盆会ご先祖様の加護を受け苦難に耐へて我は生きぬく

古き世の習わし様々盆仕度供えし牛馬藁で籠入り

予定せし父母の法要無事に終へ今年の務めひと区切りつく

齋藤与次雄

佐藤 顕

齋藤 久繁

前田キヌエ

土田 秀

佐藤 博政

五十嵐松男

8/2
㊄

森林を身近に感じよう
はじめての
木のぬくもりプレゼント



8月2日(火)、町では県産木材の利活用と森づくり活動への理解を深めることを目的とした「やまがた緑環境税」を活用して、7カ月児に「つみぎ」をプレゼントしました。

このつみぎは県産の杉材を使用していて、やわらかく、温かみのある肌触りや、心地よい香りを感じることができます。

今後も7カ月育児相談の際にプレゼントしますので、木のぬくもりをご家庭で感じてみてください。



地域の力が犯罪や非行を防ぐ
社会を明るくする運動

7/28
(木)



社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と更生について理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な取り組みです。

7月28日(木)、保護司会三川町分会と三川町更生保護女性会による啓発活動を行ったほか、町内16事業所から募金にご協力をいただきました。

寄せられた募金(総額154,000円)は、犯罪や非行の防止と立ち直りを支える地域活動に活用されます。

8/9
㊄

災害の備えを万全に
ヤマト運輸(株)と
災害時物資輸送等協定を締結



8月9日(火)、町とヤマト運輸(株)は、「災害時における物資輸送及び物資拠点施設の運営等に関する協定」を締結しました。

この協定は、町からの要請により、災害救助に必要な物資の輸送や物資の集積所の運営業務をヤマト運輸(株)より行っていただくものです。

協定の締結により、災害等が起こった際、避難所等への円滑な対応が期待できます。

プロ選手とのスポーツ交流
アランマーレ
スポーツ教室

8/4
(木)



8月4日(木)、テオトルにて「アランマーレスポーツ教室」が開催され、町内の小学生27名が参加しました。この教室は、庄内を拠点に活動する女子バレーボールチーム「アランマーレ」の選手とスポーツを通じた交流を行う事業として開催されました。

教室では、バレーボールを使ったレクリエーションが行われ、参加した児童たちは、間近で見る選手たちに目を輝かせながら交流していました。

8/17 (水) 活発なコミュニティ活動のために
宝くじ助成で
公民館備品を整備



このたび押切中町町内会では、コミュニティ助成事業を活用し、公民館にテーブル、イス、カラーコピー機、音響機器等を整備しました。

この事業は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、地域コミュニティ活動の充実と強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するために行っています。

整備された機材の活用により、地域コミュニティ活動のさらなる活性化が期待されます。

献血の普及啓発活動をたぐえて
(株)ヨロズエンジニアリングに
感謝状贈呈

8/10 (水)



8月10日(水)、(株)ヨロズエンジニアリングが、日本赤十字社山形県支部から感謝状を贈呈されました。

町内の天神堂工業団地で生産設備製造などを手掛ける同社は、平成22年度から活動を開始し、毎年2回の献血を事業所で実施しています。また、事業所内での献血ポスターの掲示や、職員への呼び掛けを積極的に行い、多くの献血協力者を確保する活動に長年取り組んできました。今回、こうした活動が高く評価され、贈呈されたものです。

8/25(木) 保育士さんになってみよう
26(金) 三川中学校3年生
保育実習



8月25日(木)～26日(金)の2日間、三川中3年生が、みかわ保育園・幼稚園で保育実習を行いました。

3年生は、園児の年齢にあった遊び道具をあらかじめ考えて作成し、園児たちと一緒に遊びながら実習を行いました。

参加した生徒は、「子どもたちと触れ合うことができて楽しかった」と話し、実習を終えると、名残り惜しそうに園を後にしていました。

こんな言葉使う?使わない?
東京女子大学による
方言調査

8/25 (木)



8月25日(木)～27日(土)の3日間、東京女子大学の学生による方言調査が行われました。この調査は、本町と親交のある同大学の篠崎晃一教授が取り組んでいるもので、ビデオ会議アプリ「Zoom」を使って、町民27人を対象に本町で使われている方言の現状を調査しました。

調査では、意味や使い方、使われる場面、似ている言葉など、一つひとつを丁寧に確認していました。



みかわ環境つうしん

Mikawa Environment Newsletter

【今月のテーマ】
ごみの出し方
今一度 ご確認を

今年の6月下旬より、鶴岡市ごみ焼却施設等において、異物混入が原因で、処理施設の運転を停止し、除去作業を実施する事案が多く発生しております。異物混入が続くと、施設の設備の損傷につながり、修理が必要になります。また、施設の寿命を縮める要因にもなります。施設を長く使用するために、みなさまから改めて適正なごみの分別をお願いいたします。

ごみ処理施設等での異物混入の事例

- ・もやすごみ(茶)のごみ袋に多量の金属が混入し、金属の除去作業に焼却を1~2時間停止。
- ・プラスチック製容器包装類(桃色)のごみ袋に、マイクロビーズ入りのクッションが混入。施設での処理中にビーズが飛散。除去作業を実施。



▲もやすごみ袋に混入していた多量の金属



▲マイクロビーズが処理機械の中で飛散した様子

《その他、注意事項》

三川町内のごみステーションに出された分別誤りのごみの事例

- ・もやすごみ(茶)のごみ袋に解体された粗大ごみ(タンスやじゅうたん)が混入。
- ※粗大ごみは、解体しても粗大ごみです。ごみステーションには出せません。

廃食用油回収用のペットボトル容器は繰り返し使用してください。

回収業者は、ペットボトル容器内の廃食用油のみを回収します。業者が廃食用油を回収した後、空容器は自宅に持ち帰り、繰り返し使用してください。

【ごみ収集量実績】	8月収集量	
	R4年度(R3年度)	対前年度増加率
も や す ご み	162.57t (165.05t)	▲1.50%
プラスチック製容器包装類・ペットボトル	5.66t (4.67t)	21.20%
び ん ・ 缶	2.95t (5.40t)	▲45.37%
金 属 ・ そ の 他	2.95t (2.74t)	7.66%
廃蛍光管・廃乾電池等	0.33t (0.15t)	120.00%
合 計	174.46t (178.01t)	▲1.99%

○問合せ先 役場建設環境課 環境整備係 ☎35-7036

○開館時間 午前9時~午後5時

○期間 10月16日(日)まで (期間中は無休)

第28回酒田市土門拳文化賞受賞作品展

酒田市

○問合せ先 鶴岡市羽黒庁舎総務企画課内「酒井家庄内入部400年記念松ヶ岡クラフトフェス実行委員会」事務局 ☎26-8771

○会場 松ヶ岡開墾場

○内容 様々な分野の作家こだわりの作品展示や販売を行う2日間!松ヶ岡秋の収穫祭マルシェも同時開催します。

鶴岡市

酒井家庄内入部400年記念
松ヶ岡クラフトフェス

○日時 10月1日(出) 午前10時~午後4時、10月2日(日) 午前10時~午後3時



○申込み・問合せ先 庄内町観光協会 ☎0234-42-2922

庄内町

○費用 一般700円、高校生350円、中学生以下無料

○会場・問合せ先 土門拳記念館 ☎0234-31-0028

○対象 小学校高学年~大学生

○定員 10人

○費用 2,000円(プログラムニング受講料、焼き肉ランチ、保険料込)

○持ち物 撮影機器(スマホやカメラ)、PC(無い場合は貸与可)

○集合場所 余目駅前クラッセ(庄内町余目)

○日時 10月29日(土) 午後1時~4時、10月30日(日) 午前10時~午後5時

○日程 1日目に町内の人気スポットを巡るまち歩きをし、2日目にIT企業の現役エンジニアからプログラミングを学び、WEBサイト「庄内町観光マップ」を作成します。これからの時代、大活躍のプログラマーに興味がある皆さん、最先端の学びを体験してみませんか。

in 庄内町

プログラムニングまち歩きCAMP

庄内町

(最終入館午後4時30分)

○費用 一般700円、高校生350円、中学生以下無料

○会場・問合せ先 土門拳記念館 ☎0234-31-0028



町からのお知らせ

9月21日から30日は「秋の交通安全県民運動」期間です

これからの時期は日没が早まり、夕暮れ時から夜間にかけて交通事故が多く発生します。一人ひとりが交通安全を意識し、事故防止に努めましょう。

◆運動の重点

- 子どもと高齢者をはじめとする歩行者の安全確保
- 夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の撲滅
- 自転車の交通ルール遵守の徹底

9月24日から30日は「結核予防週間」です

○問合せ先 役場総務課 危機管理係
☎35-7010

日本の結核の現状は、罹患率、死亡率ともに先進諸国の中で高い状況にあり、今でも1日に50人の新しい患者が発生し、5人が命を落とすなど、決して過去の病気ではありません。結核の初期症状は、せきが2週間以上長引く、たんや血たんが出る、体重が急に減少する（高齢者の場合にはこの症状しか現れないことも多い）等があります。

定期的に健康診断を受け、胸部エックス線検査で結核の兆候がないか、チェックしましょう。会社などで、こうした検査がない場合は、町の検診を受診してください。

○問合せ先 役場健康福祉課 健康係
☎35-7032

山形県後期高齢者医療広域連合からのお知らせ

◆10月1日から窓口負担割合が見直されます

後期高齢者の方の窓口負担は、令和4年9月30日までは「1割負担」と「3割負担」ですが、令和4年10月1日からは「1割負担」の方の区

分に「2割負担」が新たに追加されます。被保険者のうち、一定以上所得のある方が対象になります。

○問合せ先 役場町民課 国保係
☎35-7028

高齢者インフルエンザ予防接種を助成します

○対象者 三川町に住民登録のある満65歳以上の方

※満65歳の誕生日前日から接種可能です。
○実施期間 10月1日(土)〜令和5年1月31日(火)

○町助成額 1,500円(医療機関が定める接種費用から、1,500円を引いた額が自己負担になります)
※住民税非課税世帯に該当する方は、接種前に町に申請することで町助成額が2,000円になりますので、役場健康福祉課に申請してください。(接種後の申請は不可)

○接種場所 ほとんどの医療機関で接種を受けることができます。実施の有無や予約について各医療機関へご確認ください。

○持ち物 保険証(予診票は医療機関に備え付けています)

○接種間隔 インフルエンザワクチンを接種する前後に他のワクチンを接種する場合は、医師へご相談ください(新型コロナウイルスと

は、間隔をあげることなく接種できますが、念のため医師へご相談ください)。

◆今年度より対象者へ、はがきでの個別通知は行っておりません。(接種時にはがきは不要です)

○問合せ先 役場健康福祉課 健康係
☎35-7032

がん検診があなたの命を守ります
がん検診受診率向上キャンペーン

庄内5市町と庄内保健所が連携し、がん検診受診率向上キャンペーンを行います。がんの早期発見・早期治療のためには、いち早くがん検診を受診することが重要です。これを機会に、がん検診への理解を深めましょう。

○日時 10月8日(土) 午前10時〜午後4時

○会場 イオンモール三川

○内容 知って得するがん・がん検診の情報展示、がん・健康づくりクイズ(景品あり)、専門員によるがん・健康に関する相談

○参加費 無料

○問合せ先 役場健康福祉課 健康係
☎35-7032

「木エクラフト事業」参加者募集

みかわ秋まつり会場に開設する「木エクラフトコーナー」で、木のぬくもり

を感じながら、ものづくりをしませんか。
数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

○日時 令和4年11月6日(日)

①午前10時〜 ②午後1時〜

○場所 子育て交流施設テオトル
(みかわ秋まつり会場)

○内容 ローターブルの作製(2時間程度)

○定員 ①②ともに先着14人

※小学生以下の方は保護者と一緒にご参加ください。

○募集期間 9月20日(火)〜10月14日(金)

○申込み・問合せ先 役場産業振興課農政係
☎35-7018



▲申込みフォームはこちらから

※この事業は「やまがた緑環境税」を活用しています。

アフターからだ塾公開講座

健康づくり、生活習慣病予防、介護予防のための運動を体験しませんか。

○日時 10月13日(木) 午前9時30分〜11時

○会場 子育て交流施設テオトル 多目的ホール

○内容 講師が発案した「ジョサネ棒」を使った運動

○講師 ボディビルディングジム

パワーゲート代表 伊藤祐輔氏

○参加費 無料

○申込み締切り 10月6日(木)まで

○申込み・問合せ先 役場健康福祉課健康係
☎35-7033

家屋の新増築・取り壊しの申し出について

固定資産税の適正な課税のため、次の要件に該当する方は、申し出くださるようお願いいたします。

◎今年、家屋の新増築や取り壊しをした後に、町の確認を受けていない方

◎今年中に家屋の新増築・取り壊しを計画している方

○問合せ先 役場町民課 税務係

☎35-7026

認可外保育施設等を利用中(予定)の方へ

次の対象施設等を利用中(または、令和4年9月〜令和5年3月までに利用予定)で、対象児の要件すべてに該当する方は施設利用料が山形県段階的負担軽減事業の対象となる場合がありますので、申請をお願いします。

○対象施設・事業 認可外保育施設、企業主導型保育施設、幼稚園・認定こども園の2歳児預かり

○対象児 ①0歳児から2歳児 ②

元気が見える!わかる!

対象 60歳以上

令和4年度2回目 みかわ自立体力検定(秋コース)

高齢者も無理なく楽しくできる体力測定を実施します。他にも下記のような様々な健康に関する測定が体験できます。ぜひ、介護予防と生活習慣病予防にお役立てください。

- 日時 10月7日(金) 午前9時〜午後3時
- 会場 子育て交流施設テオトル 多目的ホール
- 検定料 500円(当日集金)
- 持ち物 マスク、飲み物

運動できる服装と履物でご来場ください。

○申込み締切り 9月30日(金)まで

※完全予約制です。希望時間をお知らせください。



【当日体験できる健康測定機器】

- ①血管年齢測定
- ②体組成測定(通称：健さんのからだつうしんぼ)
- ③ベジチェック(手のひらの成分で野菜充足度がわかる)
- ④自律神経チェッカー(センサーに指を挟んでストレス度・自律神経活性度を測定)



▲ベジチェック



▲新登場!自律神経チェッカー

○申込み・問合せ先 三川町地域包括支援センター(役場健康福祉課内) ☎35-7031

その他のお知らせ

保育の必要性がある児童 ③年収
約470万円未満世帯
○申請・問合せ先 役場健康福祉課
子ども支援係（役場2階教育委員
会内） ☎35-7023

全国一斉不動産無料相談会

不動産に関する法律・税金・建築・
空家等のお悩みに、弁護士・税理
士等の専門家が無料でお答えします。
○日時 10月1日(土) 午前10時〜
午後4時
○会場 鶴岡市勤労者会館
※予約不要ですので、会場へ直接お
越しください。
○問合せ先（公社）全日本不動産
協会山形県本部
☎023-642-6658

酒田市無料法律相談

三川町民も相談できます。申込み
時に相談の概要と住所、氏名をお知
らせください。秘密は厳守します。
○日時 10月7日(金) 午後1時30
分〜4時30分
○内容 法律に関する相談（本人
のことに限る）
○定員 先着6人

○相談員 葉丸有希子弁護士
○申込み開始日 9月22日(木) 午前
8時30分
※電話で申込みください。
○会場・申込み・問合せ先 酒田市
まちづくり推進課市民相談室
☎0234-26-5726

**佐藤昌仁(三川町出身)、竹下裕美
ジョイントリサیتال**

○日時 10月1日(土) 午後1時
開場、1時30分開演
○会場 子育て交流施設テオトル
多目的ホール
○内容 クラシック音楽から懐か
しい日本の歌曲、映画音楽など幅
広い音楽を、ソプラノ独唱やピア
ノ独奏も含めたアンサンブルプロ
グラムで楽しいお話とともにお聴
かせします。
○入場料 一般2,000円、中高
生1,000円、小学生以下無料
○問合せ先 実行委員会 三川事務
局 佐藤
☎090-5598-1404

精神障がい者家族教室

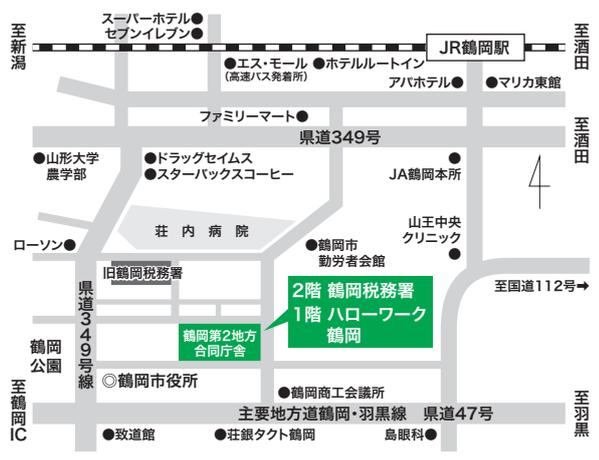
○日時 10月13日(木) 午後1時30
分〜3時40分
○会場 庄内町余目第一まちづく
りセンター（旧余目第一公民館）

○内容 講話①「こころの病を持
つ方の就労・日中活動について」
（講師：相談支援事業所あおぞら
相談支援員）、講話②「ご家族の
ストレス対処法とリラクゼーショ
ンについて」（講師：こころの医
療センター精神科認定看護師）
○定員 20人
○参加費 無料（事前申込み必要）
○申込み締切り 9月30日(金)まで
○申込み・問合せ先 庄内保健所地
域保健福祉課精神保健福祉担当
☎66-4931

※催し物等に参加される際は、マスク着用や手指
消毒などの感染症対策にご協力をお願いします。
また感染状況により中止・延期などの場合があ
りますので、あらかじめご了承ください。

～鶴岡税務署庁舎移転のお知らせ～

- 業務開始日 令和4年9月20日(火)
- 新住所 〒997-0035 鶴岡市馬場町2番12号 鶴岡第2地方合同庁舎2階
- その他 電話番号、ファックス番号の変更はありません。
- 問合せ先 鶴岡税務署 ☎22-1401



☆鶴岡第2地方合同庁舎 地図☆

～ハローワーク鶴岡(鶴岡公共職業安定所) 庁舎移転のお知らせ～

- 業務開始日 令和4年10月11日(火)
- 新住所 〒997-0035 鶴岡市馬場町2番12号 鶴岡第2地方合同庁舎1階
- その他 電話番号、ファックス番号の変更はありません。
- 問合せ先 ハローワーク鶴岡庶務課 ☎25-2501



あの頃のみかわ



今から30年前のみかわ【平成4年(1992年)9月】

このコーナーは、過去の広報を振り返り、当時の三川を紹介するコーナーです。今回は、今から30年前の平成4年9月に発行された広報です。

表紙の写真は、このとき開催まで19日に迫った、「べにばな国体秋季大会」に向けて、マーチングバンドの練習を行う様子です。この大会では、サッカー成年男子2部の競技が三川中学校グラウンドで行われるため、大会成功に向けて準備に取り組む様子が紹介されています。

また、この大会にあわせて、三川中学校グラウンドに「方言坊やと三川の四季」をテーマとしたストーリー壁画が、はじめて描かれました。現在では、同様のテーマで、中学生がデザインを考えた壁画が描かれています。色彩豊かに描かれた壁画は、今なお町民に親しまれています。

【平成4年8月末日現在の総人口：8,208人】



休日夜間診療のお知らせ

受診前に必ずお電話ください。感染症対策のため、症状を確認の上、受診のご案内をしています。

鶴岡市 場所：鶴岡市総合保健福祉センター「にこ♥ふる」内（鶴岡市泉町5-30）

◆休日夜間診療所◆ ☎ 23 - 5678	開所日	診療科	受付・診療時間
	月・土曜日 ※12月～3月は火～金曜日にも診察します。	内科、小児科、外科	19:00～21:30
日曜日、祝日（振替休日含む）、 年末年始（12月31日～1月3日）	内科、小児科、外科	9:00～12:00 18:00～21:00 ※12月～3月は午後(13:30～16:30)も診察します。	

酒田市 場所：酒田市民健康センター別館（酒田市船場町二丁目1-31）

◆休日診療所◆ ☎ 0234 - 21 - 5225	開所日	診療科	受付時間
日曜日、祝日（振替休日含む）、 年末年始（12月31日～1月3日）	内科、小児科、外科	8:30～11:30 ※当面の間、午前中のみ	

謹んでご冥福をお祈り申しあげます

令和4年8月届出（敬称略）

本間 園子(95歳) 対 馬 佐藤トチ子(93歳) 押切中町

安達 茂雄(90歳) 押切中町 須藤 忠(83歳) 三本木

ご家族等から広報掲載の承諾をいただいた方のみ掲載しています。

ふるさと応援寄附金
ありがとうございました

8月分 1,035人

お名前と住所地は町ホームページで公開していますので、ご覧ください。

◁ 人口の動き ▷
(令和4年8月末日現在)
() 内前月比

■人口数/7,234人(減6人) 男3,546人(減3人) 女3,688人(減3人)
増減の内訳 ・転入15人・転出▲15人・出生1人・死亡▲7人
■世帯数/2,483戸(減1戸)



食改さんの料理紹介 No.30

「食のみかわ おしながき」は、食生活改善推進員(通称..食改さん)による料理のレシピ紹介のコーナーです。

今月のおすすめ一品目

会員研修会で学習した料理です。

ごぼうポタージュ

材料(4人分)

- ・ごぼう(太目) 200g
- ・玉ねぎ 100g
- ・無調整豆乳 1カップ
- ・チキンコンソメキューブ 1個
- ・ごま油 適量
- ・塩 ひとつまみ
- ・白ごま・黒ごま 適量

作り方

- ①ごぼうは表面をたわしで洗い、斜め薄切りにする。玉ねぎはみじん切りにする。
- ②深鍋に、ごま油を熱し①をしつとりとするまでよく炒める。途中ひとつまみ塩を入れ、水分を出しながら火を通す。



- ③材料がヒタヒタにつかる程度の水を入れる。アクを途中で1度取り、ごぼうが柔らかくなったたらチキンコンソメキューブを入れて溶かす。火を止め、粗熱を取る。
- ④ミキサーで③をなめらかになるまでかき混ぜる。
- ⑤④を鍋に戻し入れて、豆乳を加えて中火で焦げないようにゆつくりと温める。
- ⑥塩が足りないようだったら足して味を整える。
- ⑦器に盛り、上からごまをあしらう。

今月のおすすめ一品目

桜えびと青じその混ぜごはん

材料(4人分)

- ・ご飯 400g
- ・桜えび 3g
- ・青じそ 4枚
- ・甘酢生姜 30g

作り方

- ①甘酢生姜は汁気を絞る。甘酢生姜、青じそを粗く刻む。
- ②ボウルに温かいご飯と桜えび、①を入れ、切るように混ぜ、茶碗に盛る。



表・紙・の・写・真

三川中学校大運動会

9月3日(土)、三川中学校三大行事のひとつである運動会が、同校グラウンドで開催されました。

運動会練習から本番まで、天気が心配されましたが、好天に恵まれ、練習を重ねて本番を迎えることができました。

当日は、赤・青組の対抗競技や応援合戦が行われ、仲間を応援し、お互いのチームをたたえ合う姿が印象的でした。

